

【胃内視鏡検査(胃カメラ)について】

胃内視鏡検査（胃カメラ）は食道・胃・十二指腸にできる病気（がん・潰瘍・ポリープ・炎症・静脈瘤など）を見つけ、適切な治療方法を考えたり、病気の程度を知り治療効果を確認するために行います。ここでは検査に使用するお薬の副作用や内視鏡検査にかかわる偶発症に関して説明いたします。

1. のどに含んで麻酔します 抜歯の時に歯ぐきにする注射も同じ成分で、胃内視鏡ではこのキシロカインをのどに含んだり噴霧したりして表面麻酔をします。ごく稀に、これによって気分不良や、のどに浮腫を起すことがあります。以前、内視鏡検査や抜歯、皮膚の縫合で気分不良を起こされた方はお申し出ください。

2. 胃の動きを抑える注射をします 心臓、眼、甲状腺、前立腺に問題ない方にはパドリンを注射します。安全域の広い薬ですが、時に目のちらつき、のどの渴き、動悸、尿の出が一時的に悪くなるなどの症状が出る場合があります。

3. 検査を楽に受けるために 楽に検査が受けられるよう、希望により安定剤の注射をしております。副作用として時に呼吸回数の減少が見られますが、当院ではモニタリング装置で監視しながら検査を行っております。胃内視鏡検査ではこの注射により、のどの反射が抑えられ楽に検査が受けられます。また、検査中の危険な嘔吐反射が減り、微小病変の検出能が上がります。しかし、検査のために必ず必要な薬ではありません。なお安定剤を注射された方は検査後1～2時間、回復室で休んでいただきます。安定剤は稀に血管に対する刺激により、注射中、腕に痛みを覚えることがあります。しばらくすると消失しますのでご安心ください。また、安定剤の効果は人によっても違います。半日くらい眠気やフラフラ感が続くこともありますので、検査当日ご自分で車の運転をして来院されるのはおやめください。ご高齢の方はご家族が付き添ってくださることをお願い致します。

4. 内視鏡検査の合併症 内視鏡の挿入は胃の曲がった部分を通過するため、挿入操作中、非常に稀ですが出血や穿孔を起こす場合があります。また内視鏡検査中、必要に応じて小さな組織を採取し顕微鏡検査に提出します。これを生検といいます。通常、少量の出血を伴います。すぐに自然止血しますが、稀に、予想以上の出血をきたすことがあります。血液をさらさらにする薬（ワーファリン、バイアスピリン、プラビックス、パファリン81、パナルジン等）を服用中の方は、出血の危険が増します。前もってお申し出ください。

5. 偶発症の頻度 日本消化器内視鏡学会が調査した全国集計（2000年）によると、上記した内視鏡の合併症を含め胃内視鏡検査による偶発症（ショック、出血、穿孔）の発生頻度は0.007%（すなわち内視鏡を受けた人10万人に7人の確率）でした。

医療行為にはリスクが伴うものです。しかし、当クリニックは患者さんご本人およびご家族といっしょにそれら乗り越え、患者の皆様の健康を願いここに説明するものです。検査は十分な注意のもとに行われますが、上記したような偶発症の発生は事前に予測することが殆ど不可能といわれております。万一、偶発症が発生した場合は最善の処置を致します。稀ではありますが総合病院への入院、止血処置や外科的処置を含めた対応もありますので、ご了承ください。

わからない点、お聞きになりたいことがございましたら下記へお電話くださるか、来院時にお尋ねください。

望月胃腸クリニック Tel (093) 632-1350
(夜間) Tel (093) 642-9801 090-2586-5845

胃内視鏡検査を受けられる_____様へ
 _____月 _____日 (_____曜日) _____時 _____分ごろにご来院ください

大切な検査です。正しい診断ができるように、次のことを必ず守ってください。

| | 食 事 摂 取 | 水 分 摂 取 | 内 服 薬 |
|------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 検査前日 | 夕食は硬いものを避け、消化の良いものを夜_____時頃までに済ませてください。それ以降は、何も食べないでください。 | 水分は普通におとりください。 | 普段から就寝前に薬を服用されている方は、いつものようにお飲みください。 |
| 検査当日 | 朝食は絶食です。ごはん、パン、味噌汁などの食事は、絶対にとらないでください。 | 検査の2時間前までは水やお湯でしたら、普通にお飲みになって結構です。牛乳、ジュース、日本茶、紅茶、コーヒーなどは飲まないでください。 | 指示された薬（ <u>血圧の薬</u> 、 <u>心臓の薬</u> など）は服用してください。抗凝固剤、糖尿病の薬は服用しないでください。インスリン治療中の方は、注射しないでください。 |

- ☆ 検査当日は、なるべくゆったりとした服装でおこしください。（女性の方は、ボディスーツ、ガードルはさけてください。）
- ☆ 口紅はご遠慮ください。
- ☆ タオルとティッシュペーパーをご持参ください。
- ☆ 時間に余裕をみて来院されてください。検査の都合で開始時間が多少前後する場合がありますのでご了承ください。
- ☆ 喉の麻酔や注射の影響がとれるまでに少し時間（1時間ほど）がかかります。
- ☆ 安定剤の注射を希望される方は、ご自分で車やバイク、自転車などを運転して来院されるのはおやめください。

胃内視鏡（胃カメラ）検査とは・・・

- ☆ 細い管の先に取り付けたビデオカメラにより、食道・胃および十二指腸球部を検査する方法で、所要時間はおおよそ10～15分です。
- ☆ 正確な診断の為に青い色素を散布したり、小さな組織片を切り取る場合（生検）があります。痛くはありませんが2mmぐらいの小さな傷ができますので、当日は飲酒を避けてください。
- ☆ 安全な検査ですが、日本消化器内視鏡学会の全国調査によると、1998～2002年の5年間の826万件の検査で、998件（0.012%）の偶発事故が報告されています。